



# 赤松町内会では、令和7年度に「地区防災計画」を策定しました!

## 地区防災計画とは

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。

## 計画策定までの流れ

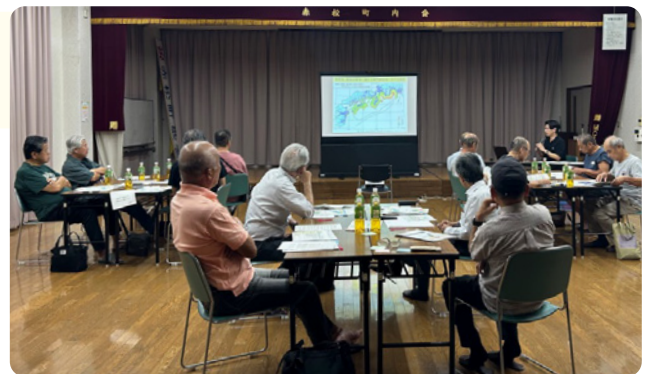
町内会役員、評議員などが地域の代表として集まり、過去の被災地支援の実績がある認定NPO法人愛知ネットの協力を得て、ワークショップ(話し合い)を行いました。

参加者で意見交換を行い、令和8年度以降に防災活動の内容を作成しました。

## 実施内容(ワークショップ3回)

### ワークショップ① 地区防災の理想と課題を整理

地域の特徴から地域防災を考えるワークショップ(話し合い)を行い、地域防災の理想(あるべき姿)を考え、「みんなで守り、助け合える赤松町」をみんなのテーマとしました。



### ワークショップ② 災害時の課題に対するアプローチ方法

安否確認、防災訓練、備蓄食料などの災害時の課題から1つを選択して、課題解決に向けた話し合いがなされました。



### ワークショップ③ 防災活動メニュー企画書の作成

課題解決に向けての具体的なアイデア出しを行いました。

企画書の内容は裏面をご覧ください



グループ  
A

## 今日から始める在宅避難



令和8年度に  
実施予定!

**目的** 避難所に行かなくてもよい方には、在宅避難を勧める（自助を高めるため）

**内容**

- ・11月の防災訓練に向けてパンフレットを配布する。市が発行するTKBを活用したい
  - ・備蓄の勧め⇒最低3日分（具体的な物が何か示す）
  - ・機会あるごとに、防災資料の読み合わせをする（少しずつ）
    - 回覧板で3ヶ月に1回（年に4回）啓蒙活動をする。毎年テーマを決めて発信
    - イベント（防災訓練以外）
      - ・10月 コスモス祭り⇒町内会としてブース出展をして、啓発を行う
- ★テーマは毎年検討する。

**対象者**

町民

**協力者・役割**

- ・子ども部、PTA⇒クイズ
- ・啓発用の資料について、提供は市役所⇒イベント時に配布する
  - ※特に、トイレの啓発チラシがあるといい
- ・自主防災会が防災資料の読み合わせをする

グループ  
B

## 安否確認訓練

**目的**

災害時に町民の安否確認の方法が決まっていないので、方法を明確化する

**内容**

- ・災害時を想定して、評議員、班長、前班長、福祉委員が黄色い札を確認する
  - 安否確認：黄色札の確認手順
    - ・班長or前班長or福祉委員が各世帯を確認⇒評議員へ報告⇒評議員は災害対策本部に報告

**対象者**

町内会全域

**協力者・役割**

全住民、評議員、班長、前班長、福祉委員

グループ  
C

## 防災倉庫の保管物の確認と機器の使い方周知

**目的**

災害時にスムーズに機器等が利用できるようにする

**内容**

- ・防災訓練の時に、役員が使用方法の説明をする（役員は事前に使用方法の確認をしておく）
- ・倉庫内に何が入っているか確認する（役員が説明）
- ・個人でのストックを推奨する（食品はローリングストック）
- ・賞味期限の近くなった保存食をイベント時に配る（試食用と集客用）
- ・災害時に必要な機器は何か？を話し合う、保存用は高額
- ・トイレゴミの回収方法（便袋）
- ・保存食はアレルゲンに考慮したものを、ある程度加える
- ・浄水機、発電機（ガス、ガソリン）、簡易トイレ、担架、リヤカー

**対象者**

防災訓練の参加者（＝町内全員）

**協力者・役割**

- ・メーカーや業者の方に操作方法の指導を依頼する
- ・資機材の使い方を知っているOB、関係者等⇒協力（説明）できる人を増やす